

2009年12月25日

愛媛県北宇和郡鬼北町  
町長 甲岡 秀文 様  
副町長 柴田 正文 様  
町議会議長 山崎 保 様

鬼北町庁舎（旧・広見町庁舎）の保存・活用に関する要望書

DOCOMOMO Japan  
代表 鈴木 博之  
（青山学院大学教授、東京大学名誉教授）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は、20世紀の建築遺産の価値を認め、その保存を提唱することを目的の一つとする国際的な非政府組織（NGO）である DOCOMOMO（ドコモモ）の日本支部です。

株式会社レーモンド建築設計事務所の設計によって1958年に竣工した貴庁舎（旧・広見町庁舎）は、地元出身の建築家で当時レーモンド事務所代表取締役だった中川軌太郎のりたろうとの関係で同事務所が担当することになったといわれていますが、このたび改修計画が進められているとお聞きしました。この庁舎は日本の近代建築を率いてきたアントニン・レーモンドの爛熟期の作品であり、日本の建築史を考える上で貴重な建築ですが、貴鬼北町に取りましてもかけがえない建築だと拝察します。貴町に置かれましては、現在の時代に即した機能を加える場合にも同建物の建築史的価値を認識してその保存・活用を検討していただきたく、「建築史的価値評価書」を添付して要望書を提出いたします。

なお DOCOMOMO Japan はこの建築の保存・活用に関して、建築の専門家という立場から、できる限りの協力をさせていただく所存であることを申し添えます。

敬具